

キセラ川西 第2回 エコまち建築賞 選考結果及び講評



1. 選考対象

- ・平成28年度末までに事前協議が完了したものは「34件」、そのうち完了報告が提出されたものは「12件」でした。
- ・このうち、エコまち建築賞選考対象の条件※を新たに満たす物件は「2件」でした。
※ラベリングの結果、低炭素・景観いずれも★3つ以上獲得 かつ ②低炭素・景観どちらかで★4つ以上獲得
- ・これに、前回エコまち建築賞の選考対象となりましたが受賞しなかった「3件」を加えて※、計「5件」を選考対象として、審査を行いました。
※前回選考会において、「今後の取り組みに期待されるところも大きく、次回以降の建築賞選考でも再度選考対象物件として取り上げていくべき」との意見で一致したことを踏まえたものです。
- ・選考対象の「5件」のうち、指定建築物（新築時に省エネ法の省エネ基準に比べ一次エネルギー消費量10%以上削減を求める大規模な建築物や公共施設）は「1件」（シルバー人材センター）のみで、残りの「4件」は、指定建築物以外の一般建築物でした。

2. 選考経過

- ・平成30年2月20日（火）13時～15時に、川西市役所 5階 503会議室において選考会を開催しました。
- ・現地視察の後、実施要領に基づく形で、6名の選考メンバーが採点を行い、それらの点数を合計、対象物件毎に総合点を算出しました。
- ・協議の結果、総合点の上位「2件」をエコまち建築賞受賞物件として選考しました。

3. 選考結果

第2回 エコまち建築賞受賞物件 2件

(1) K邸

用 途：専用住宅

建築主：個人

設計者：パナホーム（株）神戸支社

施工者：パナホーム（株）神戸支社

(2) キセラハンカチファクトリー

用 途：作業場

建築主：(株) 山之内工務店

設計者：Jo Planning Arts

施工者：株式会社 ミズモト建築工房

4. 講評

(1) K邸

本建築は、キセラ川西低炭素まちづくり計画や同運用基準に基づき、太陽光発電システムの採用や、高性能な断熱材、窓ガラス・サッシ枠の導入、地熱を活用した換気システムの導入など、CO2削減や省エネルギーに積極的に取り組まれました。

また、光触媒を焼き付けた建物外壁タイルによる整った外観を形成したり、道路に接するエントランス前に植栽を配置するなど、緑・景観面においても配慮が行われました。

本建物で実現された数々の取り組みは、これから建築される戸建て住宅にとって模範となり得るものであり、エコまち建築賞に相応しい物件として評価されました。

(2) キセラハンカチファクトリー

本建築は、作業場という用途でありながら、キセラ川西低炭素まちづくり計画や同運用基準に基づき、省エネルギー設備機器や太陽光発電 LED 照明外灯を導入するとともに、耐久性に優れたガルバニウム鋼板を用いた整った外観や、常緑落葉の組み合わせによる季節感の演出など、景観面での配慮にも取り組まれました。

ともすれば最低限の仕様に留まりがちな作業場でありながら、本建築は、地区の低炭素化・景観形成に配慮する積極的な姿勢が表れており、これから建築される工場においても模範となる、エコまち建築賞に相応しい物件として評価されました。

今回受賞しなかった物件（シルバー人材センター、日の丸ハイヤー能勢口営業所、H邸）についても、引き続き、エネルギー削減・植栽の維持管理の取り組みや隣接敷地での連続的な景観形成など、今後の取り組みに期待するとともに、今後建築される物件も多数エコまち建築賞を受賞し、キセラ川西が低炭素・景観で先導する素晴らしいまちとなっていくことを期待します。

キセラ川西 エコまち建築賞 選考メンバー

学識経験者 (4名)	関西学院大学 名誉教授	加藤 晃規
	大阪大学大学院 工学研究科 教授	山中 俊夫
	愛媛大学大学院 理工学研究科 教授	松村 暢彦
	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 助教	武田 重昭
地権者(1名)		安田 萬作
行政(1名)	川西市みどり土木部 部長	酒本 恭聖